

公益財団法人Soil 令和6年度 事業報告書

事業骨子

- 世の中には、貧困/格差や環境問題、医療/福祉や教育、地域振興など、様々な社会課題が山積している。しかし、社会的には重要な課題であっても、解決によって経済的な見返りが見込みづらい領域には、解決のための活動をする人はいても、資金が集まらず、事業の拡大や継続ができていない現実がある。
- 結果的に、事業活動によって解決され得る可能性のある課題が、解決されないままとなっている。
- しかし、これらの社会課題を解決することは、経済的見返りを産まなくても、社会に対するインパクトは多大であり、本来取り組む意義のある活動である。
- Soilは、これらの活動を促進させるため、以下の事業を行った
 - 活動資金の助成
 - 若年層の社会起業支援
 - 政策提言

実施事業

活動資金の助成

1.Soil 1000

概要

- 社会課題の解決を目的とする非営利事業の立ち上げまたは創業期にある者に対して、公募によって申請のあった次の要件に合致する事業について、必要な資金の全部または一部を助成。個人でも可、法人格は問わない
- 対象に対して、最大1000万円の資金助成を行う

実施内容

- 本年度はSoilxMUFG、SoilxKobeの2つのプログラムとして事業を実施
- SoilxMUFG
 - 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下MUFG）からの寄付金を助成原資の一部として実施

- MUFUGが社会貢献活動の「5つの優先領域」と設定した領域を対象に募集
- 総応募数220件の中から5団体を採択し、各団体400万円、総額2000万円の助成を行った
- Soil 400
 - SoilxMUFUGエントリーで、惜しくも選考通過しなかったが、優れたNPOを再度審査し1団体を採択し、400万円の助成を行った
- SoilxKobe
 - PoCによる実績創出によって事業を推進し、社会課題解決を促進することを目的とし、神戸市 新産業創造課のスタートアップ支援チームによるPoCの実施機会を提供するプログラム
 - 総応募数140件の中から5団体を採択し、各団体300万円、総額1500万円の助成を行った

2. Soil 100

概要

- これから社会課題に取り組む、または取り組みはじめたばかりの創業期の個人に対して、公募によって申請のあった要件に合致する事業について、必要な資金の全部または一部を助成。
- 助成金額は最大100万円

実施概要

- SoilxUTokyo、Soilx大学連合の2つの事業を実施
 - 合計10名に対して、資金助成とメンタリングの提供を行った
 - SoilxUTokyo
 - 5名を採択し、各100万円、総額500万円の資金助成を行った
 - Soilx大学連合
 - 最大100万円の資金助成として5名を採択し、本年度に半額の各団体50万円、総額250万円を助成
 - メンタリング終了後の2026年1月末に、事業化の意思がある個人・団体を対象に残額の各団体50万円、総額250万円を助成予定
-

若年層の社会起業支援

概要

- 社会課題解決を目的とした起業を目指す学生に向けて大学と連携し講義、講演、ワークショップ等を行う。
- 希望者を対象とするもので参加費は無料

実施概要

- SoilxUTokyo、Soilx大学連合の2つの事業を実施
 - SoilxUTokyo
 - 東京大学と連携し、東京大学在学中の大学生、大学院生に対して、社会起業のためのワークショップを実施
 - 2024年12月に2日間開催し、34名の学生が参加
 - Soilx大学連合
 - 共助資本主義の実現に向けた大学連合と連携し、東京大学・上智大学を中心とする14大学の学生、大学院生、若手の起業家や研究者を対象に社会起業のためのワークショップを実施
 - 2025年6月に2日開催、80名を対象にイベント実施（申込数：111名）
-

政策提言

概要

- 社会課題の解決にむけて、時代に即したテーマを選定した上で有識者・資金等を決定し、Soilのもとで実施、成果を政策提言としてホームページへの掲載等の方法により広く社会一般に公表する

実施概要

- SoilxPolicy Fund 政策提言事業として、事業を実施
- 総応募数72件から、7件の採択先を決定し、政策提言の伴走支援と委託を実施
- 採択先への委託費は、総額2775万円となった